

VMware vSphere with Operations Management

概要

将来のビジネス ニーズに対応するための管理された仮想化環境の構築

インフラストラクチャを仮想化するだけでも IT コストの削減になりますが、仮想インフラストラクチャとプロアクティブな運用管理ツールと併用すれば、IT コストの削減額が倍増します¹。

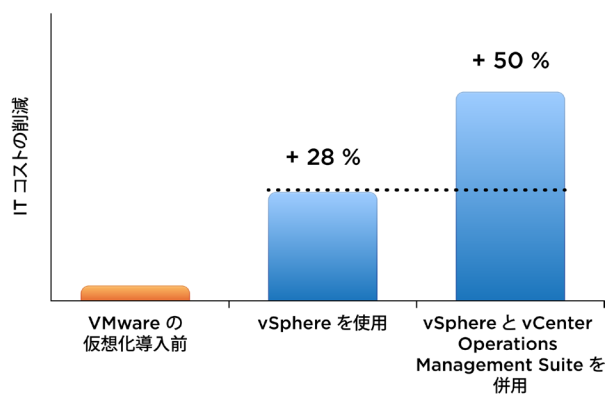
VMware vSphere® with Operations Management™ は、ワークロード データの集約、予測分析の適用、キャパシティ プランニングの実施を支援します。これにより、SLA（サービス レベル アグリーメント）が強化され、インフラストラクチャおよびアプリケーションの可用性が向上し、高いリソース使用率が実現します。

主なメリット

VMware vSphere と運用管理機能を組み合わせると、次のことを実現できます¹。

- アプリケーションのダウンタイムを最大 36 % 削減
- 診断および問題解決にかかる時間を最大 26 % 削減
- VMware 環境のキャパシティ使用率を最大 40 %、統合率を最大 37 % 向上
- vSphere の IT コストの削減額が倍増

vCenter Operations Management Suite で高まる vSphere の価値¹



vSphere with Operations Management について

vSphere with Operations Management は、業界をリードする仮想化プラットフォームと、クラス最高の管理機能を組み合わせたソリューションです。この新しいソリューションにより、vSphere 環境の運用状況を把握しながら、キャパシティを最適化できます。vSphere 環境が拡張していくにつれ、一目でパフォーマンスとキャパシティ情報を監視できるプロアクティブな管理が必要になります。詳細な分析に基づいて、使用されていないキャパシティを回収し、仮想マシンの適切なサイジングを行い、使用率と統合率を向上させることで、仮想化プラットフォームを最大限に活用することができます。

vSphere は、1,650 社を超える ISV パートナーが提供する 3,000 以上のアプリケーションをサポートしており、ビジネス クリティカルなアプリケーションを柔軟に選択して、仮想化を行うことができます。

vSphere with Operations Management の活用

- **アプリケーションのパフォーマンスとビジネス継続性の向上**：vSphere with Operations Management は、特にリソース消費量の多いアプリケーションにも対応しており、SLA（サービス レベル アグリーメント）と可用性を維持します。ダウンタイムなしの IT 機能と、サービス停止およびデータ損失に対応するための階層化された保護機能を提供します。これにより企業は、ビジネス継続性やディザスタ リカバリ管理の複雑性とコストを低減できます。
- **低コストでの IT 運用の簡素化**
vSphere with Operations Management は運用コストを削減するほか、大規模かつ地理的に分散した開発、QA、および本番 IT 環境の管理を大幅に簡素化します。
- **運用状況の確認**
vSphere with Operations Management により、IT 部門は、パフォーマンスの変化にプロアクティブに対応できます。パフォーマンス データの収集と分析を行い、パフォーマンスの問題があればその根本原因を特定します。
- **キャパシティの最適化**
vSphere with Operations Management により、キャパシティ プランニングの管理と最適化がさらに容易になります。使用されていない仮想マシンを再利用できるほか、リソースが不足している仮想マシンを適切にサイジングし、リソースを最も効率的に使用できるようにします。

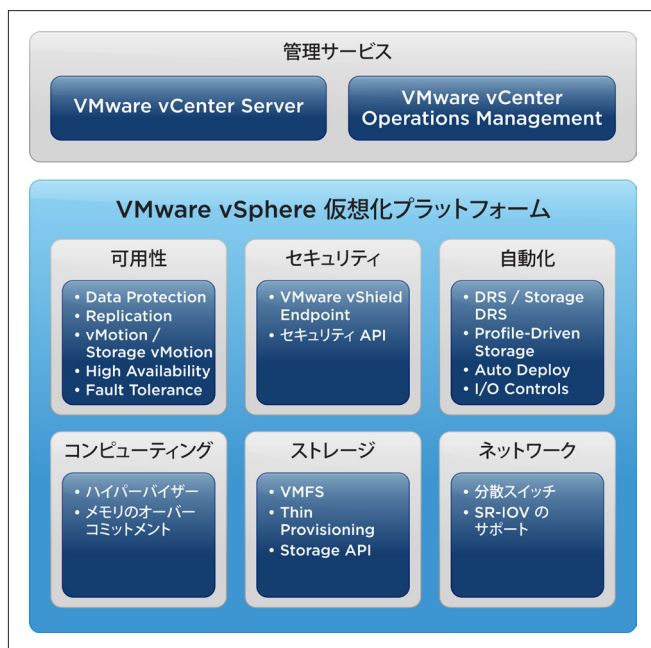
vSphere with Operations Management には、Standard、Enterprise、および Enterprise Plus の 3 種類のエディションがあります。また、vSphere with Operations Management Acceleration Kit も 3 種類のエディションが提供されます。

1. Management Insights 社「Quantifying the Incremental Value of vCenter Operations Management Suite for vSphere Customers」、2012 年 9 月

vSphere with Operations Management の主な機能とコンポーネント

仮想化プラットフォーム

- **VMware vSphere Hypervisor アーキテクチャ**：本番環境で実績のある、高性能で堅牢な仮想化レイヤーを提供します。これにより、物理環境のスループットと同等以上のパフォーマンスで、複数の仮想マシンがハードウェア リソースを共有できます。
- **VMware vSphere Virtual Symmetric Multiprocessing**：Standard Edition では最大 8 個の仮想 CPU、Enterprise Edition では最大 32 個の仮想 CPU、Enterprise Plus Edition では最大 64 個の仮想 CPU を搭載した強力な仮想マシンの使用が可能になります。
- **VMware の仮想ハードウェア**：1 TB までのメモリと、さまざまな次世代のハードウェアに対応します。
- **VMware vSphere Virtual Machine File System (VMFS)**：VMware vSphere Storage vMotion® など、ほかの vSphere コンポーネントを使用可能にする重要なテクノロジーです。これにより仮想マシンは、ファイバ チャンネルや iSCSI などの共有ストレージ デバイスを利用できるようになります。



vSphere with Operations Management は、業界をリードする仮想化プラットフォームと、クラス最高の管理機能を組み合わせたソリューションです。

- **VMware vSphere Storage API**：サポート対象のサードパーティ製データ保護、マルチパス、およびディスク アレイ ソリューションとの連携を可能にします。
- **VMware vSphere Thin Provisioning**：共有ストレージ容量を動的に割り当てます。これにより、IT 部門は階層型ストレージ戦略を実装しながら、ストレージの購入コストを最大 50 % 削減できます。

- **VMware vSphere vMotion®**：サーバ間での仮想マシンのライブマイグレーションが可能になるため、移行時のユーザーへの影響はなく、サービスの停止も不要です。また、計画的なサーバ メンテナンスを行うためにアプリケーションのダウンタイムをスケジューリングする必要がなくなります。
- **VMware vSphere Storage vMotion**：ユーザーに影響を与えない、仮想マシン ディスクのライブ マイグレーションが可能になります。これにより、計画的なストレージ メンテナンスやストレージの移行に付随するアプリケーションのダウンタイムを排除できます。
- **VMware vSphere High Availability (HA)**：優れた費用対効果で、ハードウェアやオペレーティング システムに障害が発生した場合でも、すべてのアプリケーションを数分で自動的に再起動します。
- **VMware vSphere Fault Tolerance (FT)**：ハードウェア障害が発生した場合でも、データの損失やダウンタイムなしで、アプリケーションの継続的な可用性を確保します。
- **VMware vSphere Data Protection™**：シンプルで費用対効果に優れた仮想マシンのバックアップとリカバリが可能です。Data Protection は EMC Avamar テクノロジー ベースの新機能です。組み込みの重複排除機能により、エージェント不要のバックアップが可能になります。
- **VMware vShield Endpoint™**：アンチウイルスおよびアンチマルウェア (AV) ソリューションをオフロードすることで、AV エージェントをインストールする必要のない、セキュアな仮想マシンを実現します。

運用管理

- **健全性監視とパフォーマンス分析**：パフォーマンスのボトルネックを予測し、特許取得済みの自己学習型分析機能を使用して、vSphere インフラストラクチャの健全性を維持します。
- **キャパシティの管理および最適化**：キャパシティの使用量を最適なサイズに調整し、過剰なプロビジョニングを排除して、仮想リソースを最も効率的に使用できるようにします。
- **運用ダッシュボードと根本原因分析**：直感的な運用ダッシュボードを提供し、実行可能な推奨を提示します。

Enterprise Edition で使用可能なその他のコンポーネント

- **VMware vSphere Distributed Resource Scheduler™**：ハードウェアに依存しない動的なロード バランシングと、クラスタ内の仮想マシンへのリソース割り当て機能を提供します。また、ポリシー ベースの自動化により管理の複雑性を低減しながら、SLA への準拠を促進します。
- **VMware vSphere Distributed Power Management™ (DPM)**：各クラスタ内のサーバの電力消費を継続的に最適化することで、vSphere Distributed Resource Scheduler (DRS) クラスタのエネルギー効率管理を自動化します。

Enterprise Plus Edition で使用可能なその他の コンポーネント（前述の Enterprise Edition の コンポーネントも含む）

- **VMware vSphere Distributed Switch**：vSphere 環境内の仮想マシン ネットワークを簡素化および拡張します。また、サードパーティ製の分散仮想スイッチを vSphere 環境で使用できるようにします。
- **VMware vSphere Storage I/O Control および VMware vSphere Network I/O Control**：ストレージおよびネットワークのサービス品質の優先順位を設定して、リソースへのアクセスを保証します。
- **VMware vSphere Auto Deploy™**：必要に応じて迅速に vSphere ホストを追加します。vSphere Auto Deploy を実行すると、アップデートされたイメージがホストに反映されます。このため、パッチの適用は不要となり、パッチの適用時間をスケジューリングする必要もありません。
- **VMware vSphere のホスト プロファイル**：IT 管理者はホストの展開とコンプライアンスの維持を容易に行うことができます。
- **VMware vSphere Storage DRS™ の自動ロード バランシング機能**：ストレージの特性を考慮して、仮想マシンのデータの作成時および使用時に、データの最適な格納場所を決定します。
- **vSphere Profile-Driven Storage**：ユーザーが定義したポリシーに従ってストレージをグループ化することで、ストレージ リソースの選択手順をシンプルにします。

その他の vSphere 製品とアドイン

VMware vCenter Server™：vCenter Server では、仮想インフラストラクチャ全体を統合管理し、ライブ マイグレーションなど多くの vSphere の主要機能を操作できます。また、複数の場所に分散している数千台の仮想マシンを管理し、迅速なプロビジョニングやポリシー適用の自動化などの機能を使用して管理を効率化できます。

注：vCenter Server は、vSphere の完全な機能を利用するために必須です。vCenter Server は、インスタンス単位で別途ライセンスを購入する必要があります。

サポートおよびプロフェッショナル サービス

VMware は、vSphere のすべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、vSphere の導入を開始するうえでのベスト プラクティスを提供する、コンサルティング サービスも用意しております。

<http://www.vmware.com/jp/services/>

購入方法

vSphere を購入するには、次の認定リセラーにお問い合わせください。
http://www.vmware.com/go/jp_partner

すでに VMware vSphere または VMware Infrastructure™ をお持ちのお客様は、vSphere アップグレード センターにアクセスし、お客様に適したアップグレード方法についてご確認ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/upgrade-center/>

はじめて仮想化を導入するお客様には、vSphere のエディションを vCenter Server と組み合わせたソリューション バンドル、vSphere Acceleration Kit を提供しています。このキットは割引価格で提供されます。

VMware vCloud Suite

VMware vCloud® Suite は、VMware vSphere Enterprise Plus Edition™ を基盤とする、完全な統合クラウド インフラストラクチャスイートです。すべてのアプリケーション向けに最適な SLA (サービスレベル アグリーメント) を提供しながら、IT の運用を簡素化します。Cloud Suite にはクラウド インフラストラクチャに必要なすべての機能が含まれています。これらの機能には、仮想化、Software-Defined Datacenter Services (ソフトウェア定義のデータセンター サービス)、ポリシー ベースのプロビジョニング、ディザスタ リカバリ、アプリケーション管理、および運用管理があります。

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、vSphere のドキュメントを参照してください。

